

CAS	78795
物質名	イソプレン
IARC Vol. (発行年)	71 (1999年)
遺伝子傷害性に関する知見	<ul style="list-style-type: none"> ・ in vitro 試験系では、細菌を用いる試験及び哺乳動物細胞を用いる姉妹染色分体試験及び染色体異常試験で陰性の結果であった。 ・ in vivo 試験系では、吸入暴露を受けたマウスの骨髄細胞で姉妹染色分体交換及び小核が誘発された。また、本物質とヘモグロビンとの共有結合を認めた。
実験動物に関する知見	<p>評価：十分な証拠</p> <p>概要：マウスに吸入暴露させた結果、肺、肝臓の良性あるいは悪性の腫瘍及びハーダー腺腫を併せたものの発生数が増加した。ラットに吸入暴露させた結果、雌雄の乳腺及び雄の腎臓と睾丸に、良性の腫瘍を認めた。</p>
ヒトに関する知見	<p>評価：評価に利用できる疫学データがない。</p> <p>概要：評価に利用できる疫学データがない。</p>
評価結果	<p>上記のとおり、本物質は細菌を用いる試験等では陰性の結果であるが、in vivo 試験系で遺伝子傷害性が認められており、遺伝子傷害性である可能性があると考えられたため、より詳細な情報収集を行う必要があると考えられた。</p>